

# 2016年度 線形代数学 B (水曜3限, 担当: 松本佳彦) 中間試験

2016年12月7日(水) 3限 試験時間 60分

配布物: 問題, 解答用紙1枚 (1枚まで追加可), 計算用紙1枚 (追加可)

以下の問題に答えよ. 解答の順番は問わない.

記号  $\mathbb{R}[x]_n$  は, 実数を係数とする  $n$  次以下の  $x$  の多項式全体のなすベクトル空間を表すものとする.

1.

- (1)  $n$  を 0 以上の任意の整数とすると, 次の  $W$  は  $\mathbb{R}[x]_n$  の部分空間である. そのことを証明せよ.

$$W = \{ f(x) \in \mathbb{R}[x]_n \mid f''(x) + xf'(x) - 4f(x) = 0 \}.$$

- (2) 次の  $W$  は数ベクトル空間  $\mathbb{R}^3$  の部分空間ではない. そのことを証明せよ.

$$W = \left\{ \mathbf{x} = \begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3 \mid x_1^3 + x_2^3 + x_3^3 = 0 \right\}.$$

2. 次の行列  $A$  を考える.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & -1 & 7 & -10 \\ 2 & 0 & 10 & 14 \\ -2 & 1 & -12 & 5 \end{bmatrix}.$$

- (1) 行列  $A$  の簡約化  $B$  を求めよ.  
(2) 線形写像  $T_A: \mathbb{R}^4 \rightarrow \mathbb{R}^3$  を  $T_A(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$  により定義する.  $T_A$  の核  $\text{Ker } T_A$  の基底を一組求めよ.

3. 次式で定義される線形写像  $T: \mathbb{R}[x]_2 \rightarrow \mathbb{R}[x]_1$  を考える.

$$T(f(x)) = f''(x) + 2f'(x).$$

- (1)  $\mathbb{R}[x]_2$  の基底  $E = \{1, x, x^2\}$  と  $\mathbb{R}[x]_1$  の基底  $F = \{1, x\}$  について,  $T$  の基底  $E, F$  に関する表現行列  $A$  を求めよ.  
(2)  $\mathbb{R}[x]_2$  の基底  $E' = \{x^2, x + x^2, 1 + x + x^2\}$  と  $\mathbb{R}[x]_1$  の基底  $F = \{2 - 4x, 1 - 3x\}$  について,  $T$  の基底  $E', F'$  に関する表現行列  $B$  を求めよ.

4. 実数を成分とする 2 つの  $m \times n$  行列  $A, B$  に対して,  $A\mathbf{x} + B\mathbf{y}$  (ただし  $\mathbf{x}, \mathbf{y} \in \mathbb{R}^n$ ) という形で表されるようなすべての  $\mathbb{R}^m$  のベクトルからなる  $\mathbb{R}^m$  の部分空間  $W$  を考える. すなわち

$$W = \{ A\mathbf{x} + B\mathbf{y} \mid \mathbf{x}, \mathbf{y} \in \mathbb{R}^n \}.$$

- (1)  $\text{rank}(A + B) \leq \dim(W)$  を証明せよ.  
(2)  $\text{rank}(A + B) \leq \text{rank}(A) + \text{rank}(B)$  を証明せよ.